

資料 2. 内水ハザードマップ等の作成事例集

内水ハザードマップ等の作成事例集（洪水ハザードマップの作成事例も含む）

（国土交通省ハザードマップポータルサイトや自治体のHPよりPDF等のデータを入手可能）

内水浸水想定手法の違いによる作成事例

- 作成事例1. 浸水シミュレーションによる作成事例（東京都千代田区）
- 作成事例2. 浸水実績を活用した作成事例（愛知県江南市）
- 作成事例3. 降雨の違いによる内水浸水想定区域の変化を示した事例（広島県広島市）

他のハザードマップとの連携による作成事例

- 作成事例4. 洪水ハザードマップとの連携の事例（千葉県千葉市）
- 作成事例5. 津波ハザードマップとの連携の事例（岩手県陸前高田市）

住民への情報の伝え方を工夫した事例

- 作成事例6. 浸水に対する地域特性を表示した事例（愛知県一宮市）
- 作成事例7. 建物種別階別の適切な避難行動を示した事例（愛知県清須市）
- 作成事例8. 概略的に浸水危険区域を表示した事例（岐阜県岐南町）
- 作成事例9. 外国語版の事例（千葉県木更津市）

住民に分かりやすい内水ハザードマップを作成するための取り組みによる作成事例

- 作成事例10. 学校教育の場で意見聴取して作成した事例（福井県福井市）

広告を掲載する作成事例

- 作成事例11. 広告を掲載する事例（秋田県大仙市） ※ホームページアドレスのみの紹介
（http://www.city.daisen.akita.jp/site/gyousei/org_info/simin/shoubouanzen/hazardmap/）

本文中で紹介した作成事例

本文ページ	作成事例の概要	自治体名
55	内水と洪水の浸水想定区域図を重ね合せて表示した事例	神奈川県茅ヶ崎市
56,102	内水と洪水の浸水想定区域図を並列表示した事例	大阪府大阪市
56,57	内水浸水想定区域図を表面に、内水と洪水の浸水想定区域の重ね合せ図を裏面に表示した事例	三重県四日市市
63	避難時危険箇所を表示した事例	福岡県北九州市
68	過去の浸水実績を記入した事例	東京都北区
69	地下施設を表示した事例	兵庫県神戸市
82	下水道整備状況を記載した事例	兵庫県芦屋市
83	浸水想定区域及び避難場所に隣接自治体を含めた事例	山形県山形市
96	外国語を併記した事例	東京都狛江市

【作成事例1】 浸水シミュレーションによる作成事例（東京都千代田区：内水）

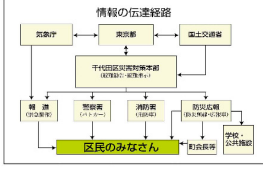
東京都区部では、東京都が河川と下水道の一体的な浸水シミュレーションによって浸水予想区域図を作成している。各区ではこの浸水想定区域図をもとにハザードマップを作成している。

千代田区洪水避難地図
(洪水ハザードマップ)

この地図は、神田川・日本橋川・荒川が大雨によって増水し、沿岸の下水道施設や河川の処理能力を超えて水があふれた場合の浸水予想区域を示しています。浸水する範囲とその位置の河川・下水道の位置関係を示した地図です。
大雨の規模は平成12年9月の北海道雨（総雨量589mm、時間最大雨量114mm）を設定しています。
水害の恐れがあるときは、地下空間にいる人は地上階に上り、区から避難勧告がでたら、速やかに**浸水想定区域以上や地図に示した避難所に避難してください**。
なお、地図に示した浸水想定区域外でも、地図によっては浸水することもありますので、十分に注意してください。 平成19年5月 千代田区

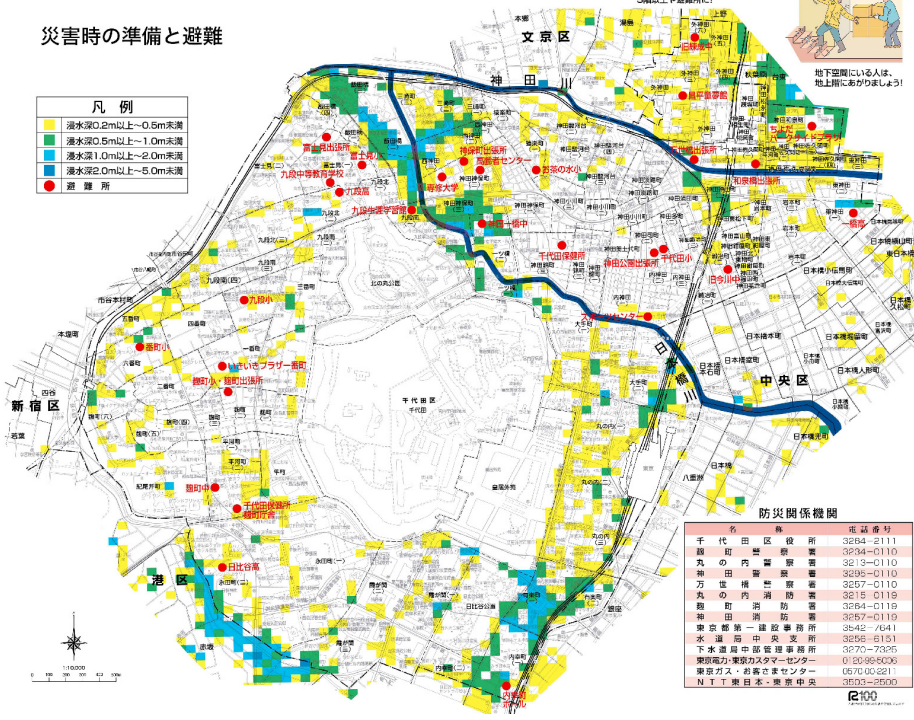


災害時の準備と避難



凡例

- 浸水深0.2m以上～0.5m未満
- 浸水深0.5m以上～1.0m未満
- 浸水深1.0m以上～2.0m未満
- 浸水深2.0m以上～5.0m未満
- 避難所



水害時指定避難所

避難所名	住所
いさぎろつササキ	豊町1-2
丸の内小学校	三番町1-9
麹町小学校	六番町3
麹町小学校 健康センター	三番町2-3
麹町中学校	三番町2-5-1
千代田保健所 麹町分室	三番町2-7-4
白比呂小学校	三番町2-11-1
内幸町第一小学校	内幸町1-5-2
富士見小学校	富士見1-1-4
富士見出張所	富士見1-6-7
丸の内中等教育学校	丸の内1-10-14
丸の内東小学校	丸の内1-5-8
丸の内西小学校	丸の内2-2-2
神田区役所	神田神保町2-0-0
神田区立 丸の内出張所	丸の内3-3-9
神田区立 丸の内出張所	丸の内3-3-9
神田区立 丸の内出張所	丸の内3-3-9
丸の内センター	丸の内神保町2-0
丸の内センター	丸の内神保町2-0
千代田保健所	千代田神保町2-1-0
千代田小学校	千代田神保町2-3-8
日夕川小学校	麹町2-4-2
二番町小学校	二番町1-2-13
麹町小学校	麹町2-4-7
日暮里中学校	日暮里1-1-14
ちまたパークサイドプラザ	丸の内1-1-1
丸の内出張所	丸の内1-1-1
丸の内出張所	丸の内1-1-1

救急医療施設

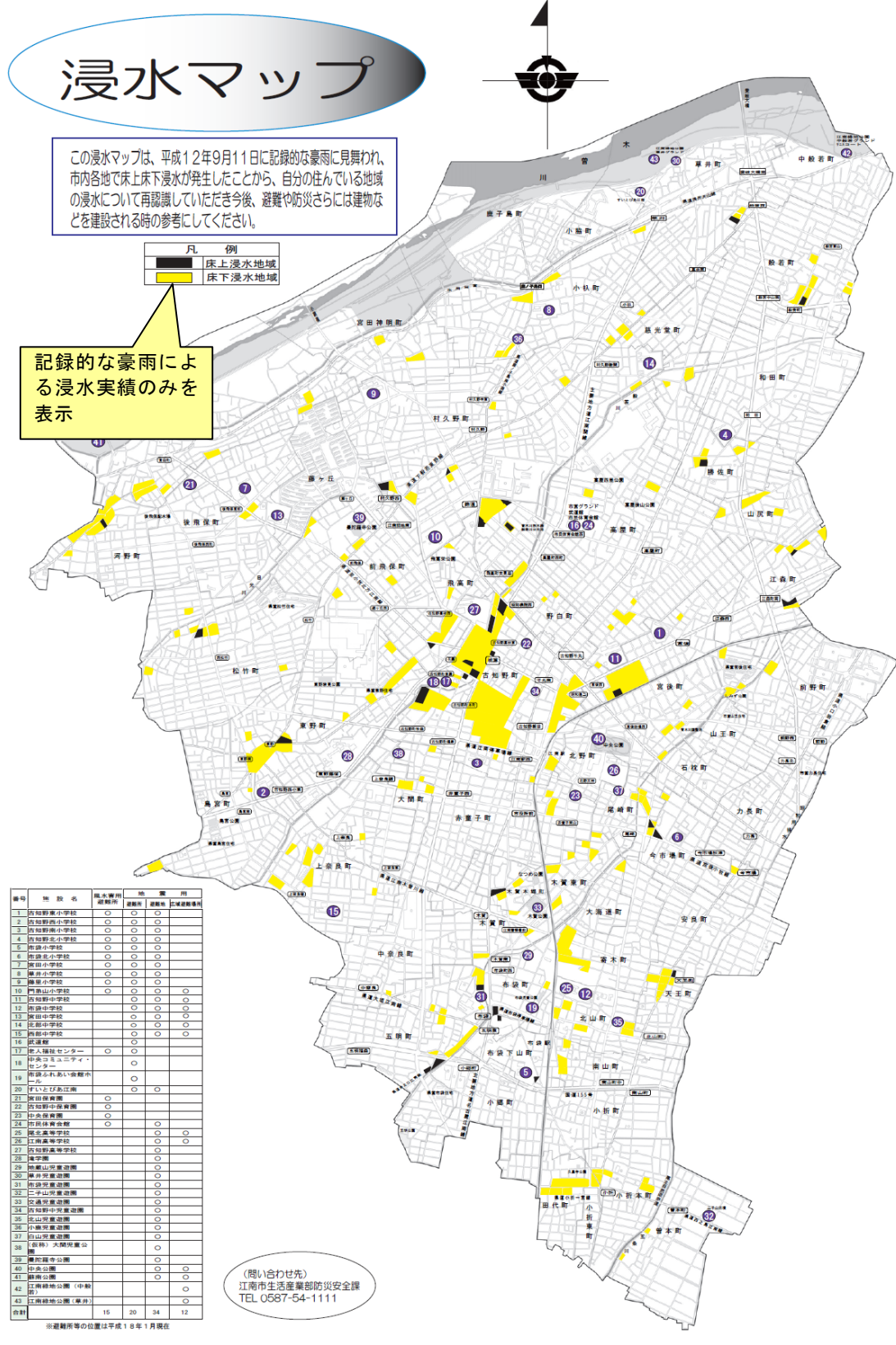
名称	住所	電話番号
東京警察病院	丸の内1-10-41	3593-1371
東京医療センター	丸の内1-16-25	3501-1111
麹町日本大学病院	麹町2-1-13	3533-1711
三業病院	麹町2-2-0	3503-3581

防災関係機関

名称	電話番号
千代田区役所	3284-2111
麹町警察署	3234-0110
丸の内警察署	3213-0110
神田警察署	3285-0110
万世橋警察署	3257-0110
丸の内消防署	3215-0119
麹町消防署	3264-0119
神田消防署	3287-0119
東京都第一消防事務所	3542-4541
下水道局中央支所	3266-6151
下水道局中部管理事務所	3270-7325
東京都消防防災センター	0120-898306
東京ガス・お客さまセンター	0570-002211
N T T 東日本・東京中央	3503-2500

【作成事例2】 浸水実績を活用した作成事例（愛知県江南市：内水）

記録的な豪雨による浸水実績（床上浸水・床下浸水）と避難所のみを表示している。







【作成事例3】降雨の違いによる内水浸水想定区域の変化を示した事例（広島県広島市：内水）

降雨の強さによって、浸水範囲が異なることを表示している。

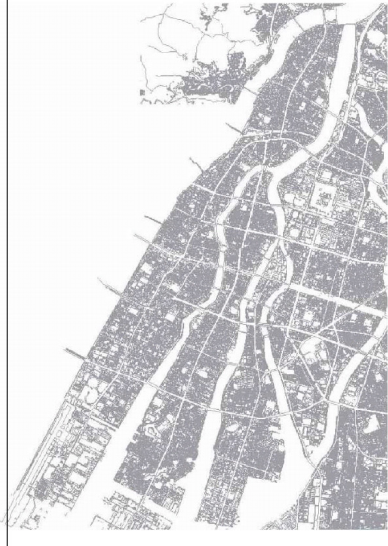
浸水(内水)想定区域図

平成19年3月時点の下水道施設に5種類の雨が降った場合の浸水を想定したものです。

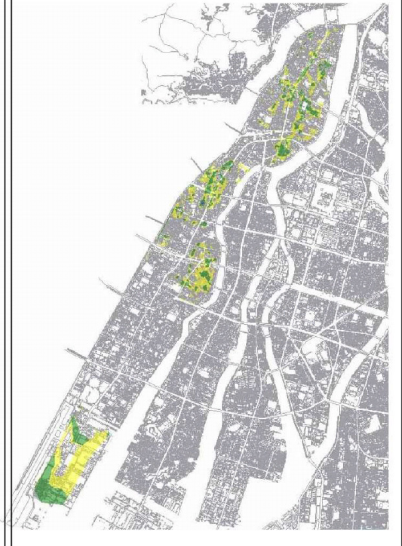
最新の気象情報に、ご注意ください。

浸水の深さ	
	100~150cm
	50~100cm
	20~50cm
	10~20cm

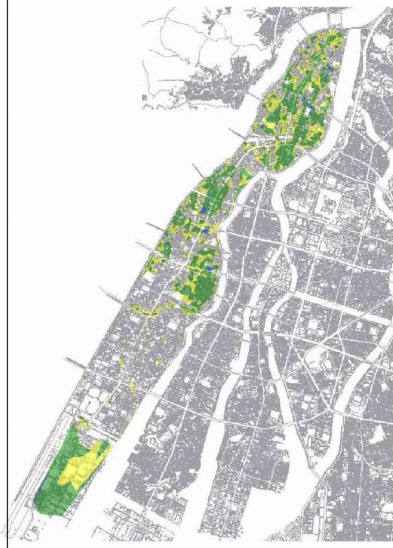
《1時間雨量が15ミリの場合》



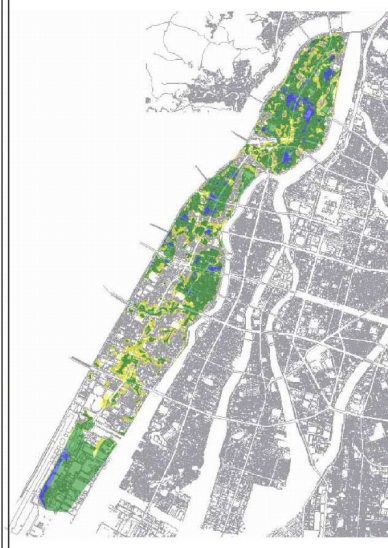
《1時間雨量が25ミリの場合》



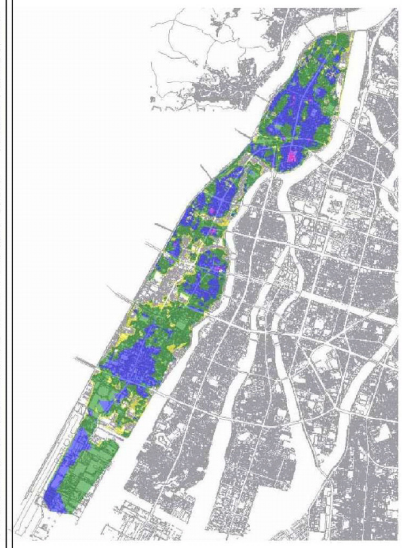
《1時間雨量が40ミリの場合》



《1時間雨量が53ミリの場合》

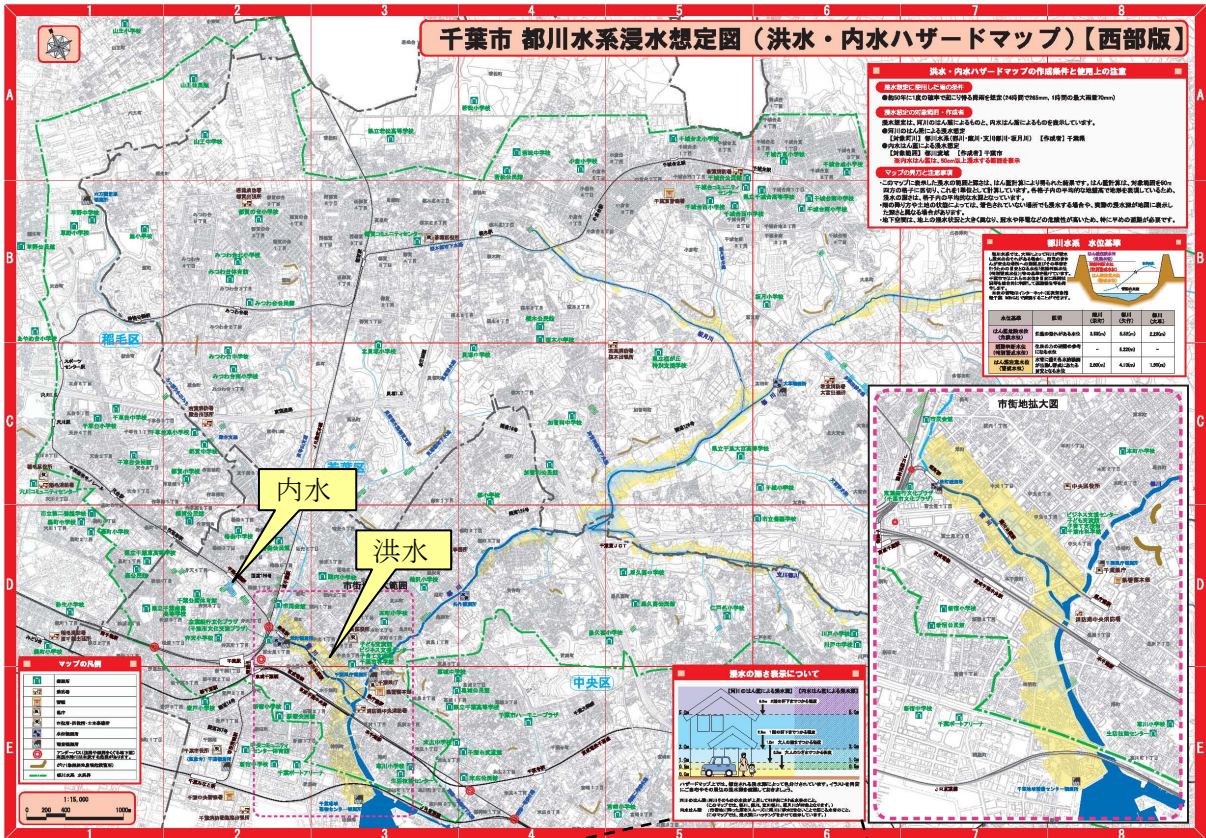


《1時間雨量が81ミリの場合》



【作成事例4】洪水ハザードマップとの連携の事例（千葉県千葉市：洪水+内水）

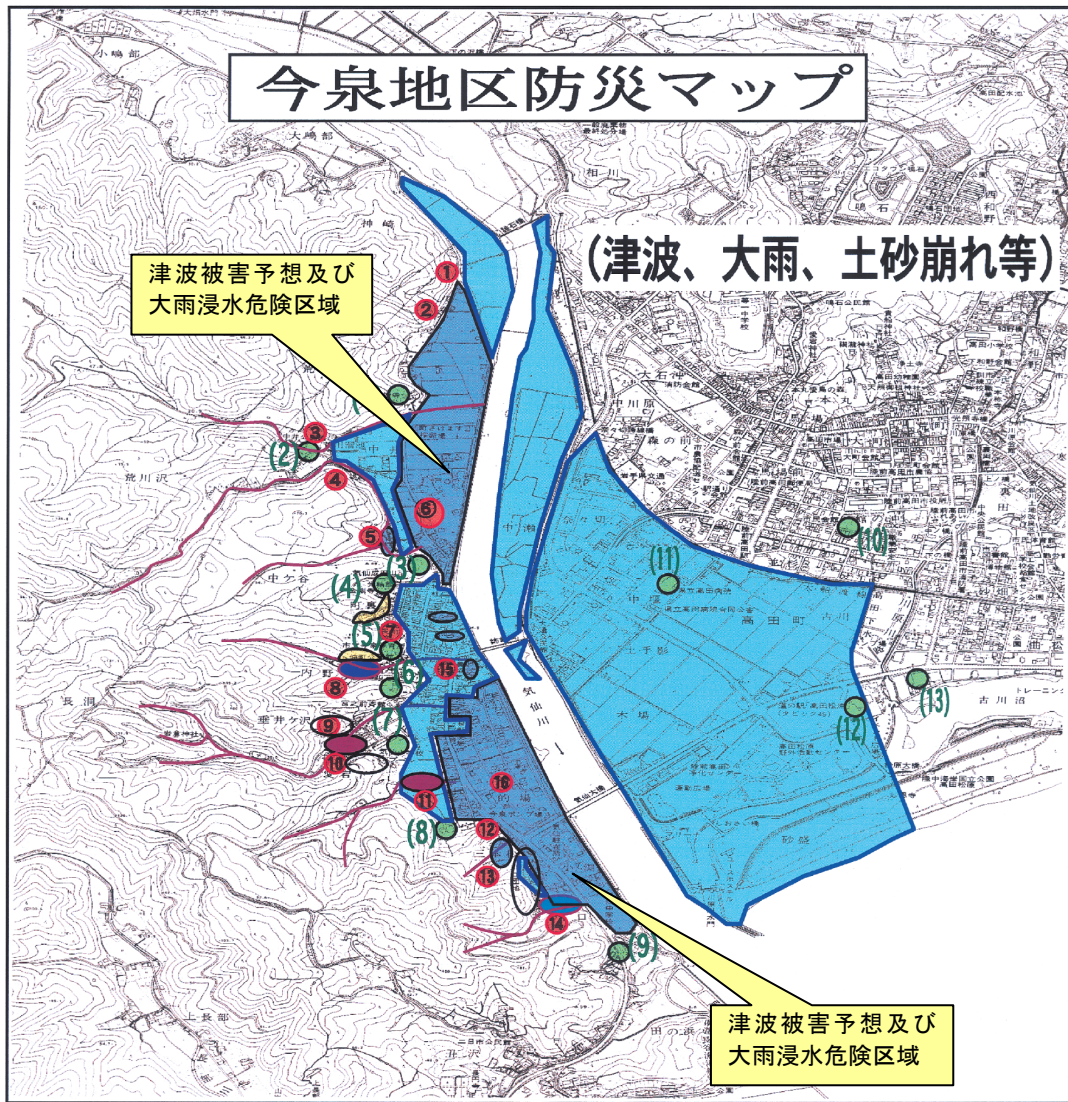
内水と洪水の浸水想定区域を重ねて表示している。内水の浸水想定区域は網掛けして洪水の浸水想定区域と見分けができるように配慮されている。



内水の浸水想定区域は網掛けが施されている

【作成事例 5】津波ハザードマップとの連携の事例（岩手県陸前高田市：津波+内水）

岩手県津波シミュレーションの結果を基に、沿岸地域の住民の方々と協働で、沿岸地区ごとの津波防災マップを作成し、市ではこれをハザードマップとしている。平成 21 年 1 月末現在では、津波ハザードマップとしてインターネット公開している。



No.	危険箇所
①	神崎地区土石崩落危険箇所
②	神崎地区土砂崩壊危険箇所
③	荒川地区土砂崩壊危険箇所
④	中ヶ谷地区土砂崩壊危険箇所
⑤	中ヶ谷地区水路溢水危険箇所
⑥	中井地区浸水危険箇所
⑦	館の山土砂崩壊危険箇所
⑧	内野地区水路溢水危険箇所
⑨	垂井ヶ沢地区土砂崩壊危険箇所
⑩	垂井ヶ沢地区土石流危険箇所
⑪	愛宕下地区土石流危険箇所
⑫	愛宕下地区土砂崩壊危険箇所
⑬	三本松地区水路溢水危険箇所
⑭	川口地区水路溢水危険箇所
⑮	町裏地区浸水危険箇所
⑯	町・的場地区浸水危険箇所

No.	避難場所
(1)	泉増寺境内
(2)	中井公民館
(3)	今泉天満宮
(4)	金剛寺境内
(5)	仲町公民館
(6)	轟訪神社境内
(7)	気仙小学校
(8)	龍泉寺境内
(9)	旧市立博物館
(10)	市民会館
(11)	県立高田病院
(12)	道の駅高田松原
(13)	キャピタルホテル 1000

凡	例
土砂崩れ危険箇所	●
土石流危険区域	●
急傾斜地危険箇所	○
急傾斜地危険区域	○
津波被害予想区域	■
津波被害予想及び大雨浸水危険区域	■
避難場所	●

気仙地区コミュニティ推進協議会